

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, October, 2010

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：村岡 健治 *K. Muraoka*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○ 10月の状況 (佐藤)

☆ 103P/Hartley (写真 a)

10月3日 23:32、宮城県栗原市の高橋俊幸氏から彗星課メーリングリスト (以下 oaa-comet ML という。) に「…103P(ハートレー)は、だいぶ明るくなってきました。コマがだいぶ広がっているようで、測光は少し難しく感じます (どこまでがコマなのか判然としません)」とのコメントと位置観測報告があった。

12日 13:28、宮城県大崎市の遊佐徹氏からも oaa-comet ML に「…103P が明るくなってきましたね。大崎の街の中からは、中心部しか眼視でみることができません。30秒露光 60コマのコンポジット画像を、

<http://space.geocities.jp/yusastar77/#103P> にあげました。尾が明瞭になってきました」とのコメントと位置観測報告があった。

眼視観測では、7日 23:19、熊本県阿蘇郡南小国町の宇都宮章吾氏から oaa-comet ML に「昨夜は、シーイングは悪いものの、透明度は最良に近いものでした。10Pは柔らかい彗星独特の形状を保っています。103Pは、明るくなってきましたが、視直径は、15cmBでは、15'ほどの大きさです。光度は、7cmBを使用しました」と10P/Tempelと共に眼視観測の報告があった。

8日 20:47、岐阜県揖斐郡大野町の松本幸久氏から oaa-comet ML に「昨夜、103Pを観測しましたので報告します。…ペルセウス座の二重

星団の近傍にあつて、写真を撮りたくなるような位置関係でした。M33を小さく暗くしたような印象で、視直径も大きく、光度の目測がしばらくイメージでした。コマの淡い広がりが大きく、もっと空の暗い場所で透明度の良い晩に見れば、もう少し明るく大きく見えるのではないかと思います。今夜は二重星団とランデブーしているはずですが、残念なことに雨が降っています。…」とのコメントと眼視観測報告があった。

11日 10:14、愛知県岡崎市の小川祥昭氏からも oaa-comet ML に「自宅からの103Pの観測報告です。…秋晴れとなり、透明度は良いですが、コマがかなり広がっているため、空の条件が悪い岡崎市内では、光度・視直径ともに20倍では測定しづらいですね。7倍の方が測定しやすく、しっかりした印象です」とのコメントと眼視観測報告があった。

同日 16:10、筆者から oaa-comet ML に「…以前観測した岩瀬地区の畑田というところについて空を見上げましたら天の川がくっきりと見えました。ただ北東の方角は郡山市の光害が少し残りましたが、ペルセウス座の二重星団を目安に双眼鏡を向けましたらコマが大きくすぐにわかる明るさになっていました。近くで花火大会をやっていましたが方向が北西側で助かりました。より西に行けばもっと良く見えるだろうと思いさらに西側の前にも観測した

ことのある長沼江花地区まで足を伸ばしました。天の川がものすごく密集して幅も広く明るくすばらしいものでした。肉眼で見えるかなと思いを凝らしましたがだいぶ視力も衰えたせいが見えませんでした。自宅に戻って再び双眼鏡を向けましたがいつもの空で透明度が悪く、雲の合間にかろうじて観測しました。天の川は見えません。この彗星のように非常に拡散している彗星は空の状態によりコマの大きさがだいぶ違って見え光度も大きく変わることを実感しました」と報告し、19日6:50に同じく「17日も天気予報は曇りでしたが、快晴になっていましたので夜半過ぎ、郊外に出かけました。昨日は晴れの予報でしたが曇ってしまいました。時々観測する西袋地区で双眼鏡による観測をしましたが郡山市の光害が目立ちそれほど大きくなった感じはしませんでした。肉眼で目を凝らして見るとなんとか気配はしました。それでももう少し西の郡山の光が少なくなる岩瀬地区で肉眼で見るとかなり広がった淡いこの彗星が確認できました」と報告した。

18日23:03、関勉OAA会長からもoaa-comet MLに「ハートレイ2の観測です。7×50の双眼鏡でもよく見えました。尾はあちらに向いて居るのか、余り目立ちませんが、これから南下する頃には多少目立つかも知れません。肉眼では斜視することで幽かです。夜明け前の30分を探索しました。15cmにナビをつけてですが、位置は比較的良好に表現していました。探索は遠のくことによって、勘が失われることが怖いですね。1961年に発見したしし座B星のあたりも良くみえました。しかし黄道光が強くしし座のメシエの銀河群が厳しいです。そう！90年ぶりの「デニング・藤川彗星」を見たのもこの辺だった！11等星でしし座の中。あの頃は空

が暗かったね」とのコメントと観測報告があった。

28日2:32、千葉県船橋市の張替憲氏からは「10Pはコマが西に扇状に広がっています。光度が落ちてきました。103Pはコマが大きく広がり天の川の恒星と重なっていましたが中心部の測光となりました。K5は小さく淡くなり、今の機材での観測はそろそろ限界となりました」とデジタル一眼レフ+200-mm f/2.8レンズによる観測を10PとC/2009 K5を併せて報告された。

○10月に発見された彗星

☆ P/2010 T1 (McNaught) 10月4.57日 UT、R. H. McNaughtは、Siding Springの0.5-m Uppsala Schmidt望遠鏡で得た画像から18.8等の拡散した18.8等の彗星を発見した。10月5.4日、McNaughtは約12"のコマを見出した。'NEOCP'ウェブページに掲載後、B. G. Marsdenは、9月11.5日 UTのUppsala Schmidtの位置観測にある天体が同じものであることを確認した。McNaughtは、再調査しそれらのイメージが同じ明るさの星のイメージより約1.5"大きいことに気づいた。佐藤英貴氏(東京都大田区、RAS天文台、Moorook近郊、オーストラリア、30-cm反射+CCDの遠隔操作)ら CCD位置観測者たちによって彗星状として観測された(IAUC 9172, 2010 Oct. 5)。

☆ P/2010 T2 (PANSTARRS) 10月6.43日 UT、ハワイ Haleakalaの1.8-m Ritchey-Chretien "Pan-STARRS 1"望遠鏡+w フィルター(400-700 nmバンド)で得た45秒の CCD画像から約4"のコマのある21.4等の彗星を発見した。WainscoatとM. Micheliは、10月7

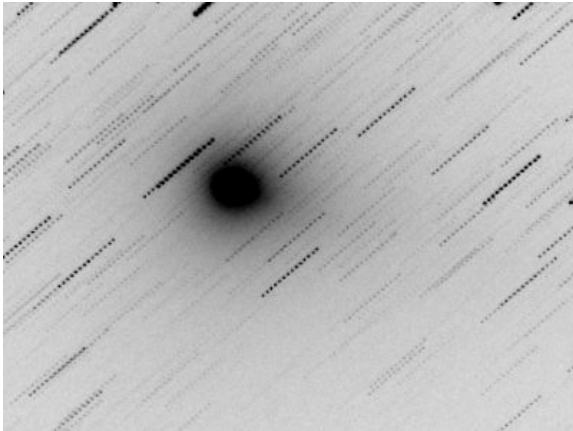
日 UT、同望遠鏡の g-バンドフィルターで得た画像から拡散したこの天体に気づいた。'NEOCP' ウェブページに掲載後、10 月 16.4 日 UT、J. V. Scotti, M. Terenzoni と A. J. Mendezdo が Kitt Peak の 2.3-m f/3 Bok 望遠鏡で得た R バンド CCD 画像で 19.5-19.6 等の少し拡散した 4" のコマがある彗星状と観測した (IAUC 9173, 2010 Oct. 16)。

☆ P/2010 U1 (Boattini) 10 月 17.23 日 UT、A. Boattini は、Mt. Lemmon の 1.5-m 反射望遠鏡で得た CCD 画像から大変強い集光と幅 4" のコマと大変狭く p. a. 240-245° に 50" の明瞭な尾のある 19.3 等の彗星を発見した。'NEOCP' ウェブページに掲載後、R. S. McMillan の報告によると 10 月 17.4 日 UT と 18.4 日 UT、0.9-m Spacewatch 反射望遠鏡で

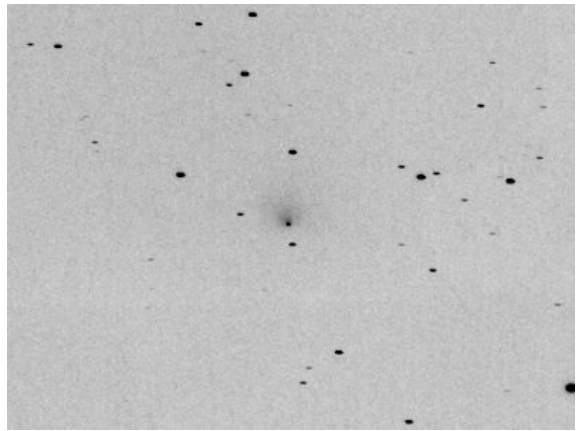
得た CCD モザイク画像で、p. a. 250° に 8" と 10" の微かな尾が見えた (IAUC 9174, 2010 Oct. 18)。

☆ P/2010 U2 (Hill) 10 月 17.32 日 UT、R. E. Hill は、Catalina の 0.68-m Schmidt 望遠鏡で得た CCD 画像から 1"-2" のコマの拡散した核と p. a. 240° に約 15"-20" の尾のある 18.2 等の彗星を発見した。'NEOCP' ウェブページに掲載後、佐藤英貴氏 (東京都大田区, RAS 天文台, Mayhill 近郊, ニューメキシコ州, 30-cm 反射+CCD の遠隔操作) ら CCD 位置観測者たちによって彗星状として観測された (IAUC 9174, 2010 Oct. 18)。

その他明るい彗星は、10P/Tempel (写真 b), C/2009 K5 (McNaught) 等であった。



(写真 a) 103P/Hartley 2010, 10, 18
1h10.0m-30.5m (JST) exp. 60s×14 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) 10P/Tempel 2010, 10, 07
23h20.0m-40.5m (JST) exp. 60s×14 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏

● 眼視等観測報告

C/2009 K5 (McNaught)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Oct.	10.76	13.2	1.5'	2	-	-	3/5	4/5	EOSX2*	張替憲	210 秒露出

10P/Tempel (写真 b)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Oct.	6.62	10.2	6'	3	-	-	4/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	
	6.68	10.1	9.2	4	-	-	3/5	4/5	EOSX2*	張替憲	210 秒露出
	10.68	10.2	6.5	4	-	-	3/5	4/5	EOSX2*	張替憲	150 秒露出

103P/Hartley (写真 a)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Oct.	1.63	8.7	5.3'	4	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	①
	2.50	8.5	4.5	4	-	-	2/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	② 薄曇り
	3.40	7.2	5	5	-	-	-	3/5	10× 7-cmB	上原貞治	③
	5.65	7.1	10	6	-	-	4/5	4/5	7× 5-cmB	関勉	
	6.57	6.6	6	5	-	-	-	3/5	10× 7-cmB	上原貞治	③
	6.63	6.8	15	5	-	-	4/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	④
	6.70	9.4	9.9	7	-	-	3/5	4/5	EOSX3*	張替憲	**
	7.60	7.2	10	4	-	-	3/5	4/5	25×15-cmB	松本幸久	⑤
	10.50	6.8	11	4	-	-	4/5	4/5	25×10-cmB	佐藤裕久	⑥
	10.50	6.2	24	4	-	-	4/5	4/5	10× 7-cmB	佐藤裕久	〃
	10.53	6.5	20	4	-	-	5/5	5/5	25×10-cmB	佐藤裕久	⑦
	10.53	6.1	30	4	-	-	5/5	5/5	10× 7-cmB	佐藤裕久	〃
	10.59	7.0	10	3/	-	-	2/5	3/5	10× 7-cmB	佐藤裕久	①
	10.61	6.5	16	4	-	-	4/5	3/5	20×10cm-B	小川祥昭	①
	10.62	6.3	20	4	-	-	4/5	3/5	7× 4cm-B	小川祥昭	〃
	10.63	6.7	15	4	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	松本幸久	
	10.69	9.1	10.3	7	-	-	3/5	4/5	EOSX3*	張替憲	**
	15.75	5.5	20	6	-	-	4/5	3/5	22×15-cmR	関勉	
	17.70	5.4	28	4	-	-	3/5	3/5	10× 7-cmB	佐藤裕久	⑧
	17.71	4.7	35	6	-	-	4/5	4/5	22×15-cmR	関勉	
	17.72	4.7	45	2/	-	-	4/5	3/5	Naked-eye	佐藤裕久	⑥
	31.83	5.7	25	7	-	-	3/5	3/5	8× 4-cmB	関勉	

- ① 観測場所:自宅 ② 観測場所:浜尾遊水池の堤防 ③ 8等星と重なっているため、光度目測に難あり ④ 16× 7-cmB 併用 ⑤ M33を小さく暗くしたような印象で、視直径も大きく、光度の目測がしづらいイメージ ⑥ 観測場所:畑田(岩瀬地区) ⑦ 観測場所:向原(江花地区) ⑧ 観測場所:二枚橋(西袋地区)

* 200-mm f/2.8 lens ** 150 秒露出、コマ中心部の光度